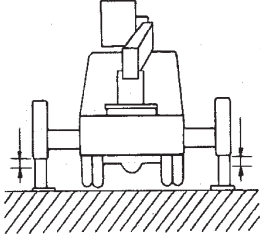
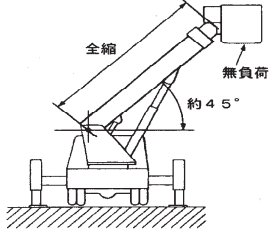
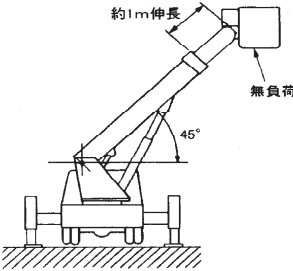


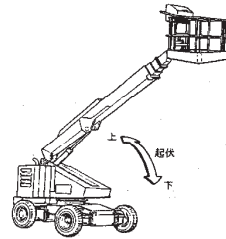
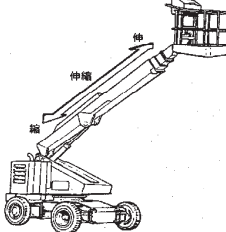
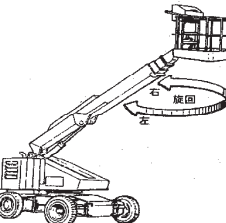
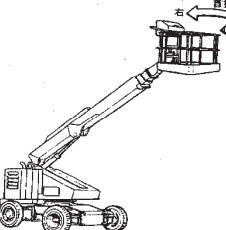
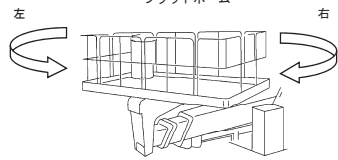
アイチコーポレーション

適 用 範 囲		モ デ ル 名			SR10A	SR12B	SR18A	SR18A
		適用号機			STD	STD	エンジン型式 4LE2 搭載車	エンジン型式 4LE2 搭載車
		スペック番号			—	—	AQ* AQ***	*S***
区分	検査箇所	適用項目 ※測定条件、方法		単位	検 査 基 準 値			
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度	ローアイドル	min ⁻¹	1150	1150	1400	1400
			ハイアイドル	min ⁻¹	2400	2400	1800	1800
		弁すき間	吸気弁	mm	0. 2	0. 2	0. 4	0. 4
			排気弁	mm	0. 2	0. 2	0. 4	0. 4
		圧縮圧力		Mpa (kgf/cm ²)	3. 24 (33)	3. 24 (33)	3. 04 (31)	3. 04 (31)
		回転速度		min ⁻¹	250	250	250	250
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り		mm	10	10	10	10
		※ベルト押し付け力		N (kgf)	100 (10. 2)	100 (10. 2)	98 (10)	98 (10)
走行装置	履帯	ゴムベルト張り(たわみ量)※5		mm	—	—	—	—
		鉄シュー	張り(たわみ量)※5	mm	25～40	25～40	220～260	280～310
	走行ブレーキ	制動距離		m	—	—	—	—
	駐車ブレーキ	最低停止保持勾配		°	—	—	—	—
作業装置	ブーム	スライディング パッド部がた	上下方向	mm	0. 5～0. 9	2～3	0. 5～0. 9	0. 5～0. 9
			上側	mm	0. 5～0. 9	1～2	1～2	1～2
			下側	mm	0. 5～0. 9	1～2	6～7	6～7
		スライディングパッド		摩耗量	mm	2以下	2以下	2以下
油圧装置	油圧ポンプ	吐出圧	首振り側	Mpa (kg/cm ²)	— —	— —	— —	— —
			走行側	Mpa (kg/cm ²)	20. 6 (210)	20. 6 (210)	31. 4 (320)	34. 3 (350)
		ポンプ回転数	低速	min ⁻¹	1130	1150	1400	1400
			高速	min ⁻¹	2400	2400	1800	1800
		※作動油 油温	—	—	VG22	VG22	VG22	VG22
			°C	°C	40±10	40±10	40±10	40±10
	油圧シリンダー	自然伸縮量	リフト	mm/10min	2	2	2	2
安全装置	車体傾斜角 警報装置	作動角度	前後	°	3. 5±0. 5	3. 5±0. 5	3. 5±0. 5	3. 5±0. 5
			左右	°	3. 5±0. 5	3. 5±0. 5	3. 5±0. 5	3. 5±0. 5
	作業範囲 規制装置	リミットスイッチ 作動高さ	高速走行規制	m	ブーム水平以上 ブーム全縮以外	ブーム水平以上 ブーム全縮以外	ブーム水平以上 ブーム全縮以外	ブーム水平以上 ブーム全縮以外
			走行規制	m	—	—	—	—
総合テスト	測定方法 ※2	起伏(リフト)	上	s	35±6	35±6	40±6	40±6
			下	s	35±6	35±6	46±6	46±6
			伸	s	25±5	25±6	35±6	35±6
			縮	s	25±5	25±6	30±6	30±6
			右	s	80±10	80±12	80±12	80±12
			左	s	80±10	80±12	80±12	80±12
		バスケット首振	右	s	25±5	22±4	30±5	30±5
			左	s	25±5	22±4	30±5	30±5
		走行	高	km/h	1. 5±0. 3	1. 5±0. 3	1. 5±0. 3	1. 5±0. 3
			低	km/h	0. 9±0. 2	0. 9±0. 2	0. 5±0. 2	0. 5±0. 2

クローラ式(内燃機式)

SR21A	SR21A							
エンジン型式 4LE2 搭載車	エンジン型式 4LE2 搭載車							
AQ***	*S***							
検 査 基 準 値								
1400	1400							
1800	1800							
0. 4	0. 4							
0. 4	0. 4							
3. 04	3. 04							
(31)	(31)							
250	250							
10	10							
98	98							
(10)	(10)							
—	—							
220～260	280～310							
—	—							
—	—							
0. 5～0. 9	0. 5～0. 9							
1～2	1～2							
6～7	6～7							
2以下	2以下							
—	—							
—	—							
31. 4	34. 3							
(320)	(350)							
1400	1400							
1800	1800							
VG22	VG22							
40±10	40±10							
2	2							
3. 5±0. 5	3. 5±0. 5							
3. 5±0. 5	3. 5±0. 5							
ブーム水平以上 ブーム全縮以外	ブーム水平以上 ブーム全縮以外							
—	—							
—	—							
40±6	40±6							
46±6	46±6							
45±6	45±6							
35±6	35±6							
80±12	80±12							
80±12	80±12							
30±5	30±5							
30±5	30±5							
1. 5±0. 3	1. 5±0. 3							
0. 5±0. 2	0. 5±0. 2							

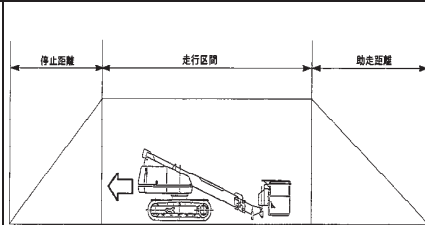
※ 1. シリンダー自然降下量 1. ジャッキシリンダー 〔測定要領〕 1) 車体を水平堅固土上にセットする。 2) エンジン停止させる 3) ジャッキレバーを「入」に数回操作し、残圧を抜く 4) ジャッキポストにマーキングまたは、ダイヤルゲージをセットする 5) 1分後、0点を合わせる 6) 10分経過させる 7) 自然降下量を測定する (前右、前左、後右、後左) 〔判定基準〕 ジャッキポストのストロークにて 1mm 以内/10 分	
2. 起伏シリンダー 〔測定要領〕 1) ブームを起伏各 45° にセットする 2) エンジン停止させる 3) 起伏シリンダーのロッドにマーキングまたはダイヤルゲージをセットする 4) 残圧を抜き 1 分後または 5 分後、0 点を合わせる 5) 10 分経過させる 6) 自然降下量を測定する 〔判定基準〕 ピストンロッドのストロークにて 2mm 以内/10 分	
3. 伸縮シリンダー 〔測定要領〕 1) ブームを起伏各 45° にセットする 2) ブーム長さを 1m にセットする 3) エンジン停止させる 4) 第 2 ブームにマーキングまたはダイヤルゲージをセットする 4) 残圧を抜き 1 分後または 5 分後、0 点を合わせる 5) 10 分経過させる 6) 自然降下量を測定する 〔判定基準〕 第 2 ブームのストロークにて 2mm 以内/10 分	

※ 2. 速度測定方法 〔測定要領〕 1) 車体を水平堅固土上にセットする。 2) 作業車の作業範囲に障害物が無いことを確認する 3) 油温は 40±10℃で行なう 1. ブーム起伏速度 1) ブーム全縮状態で、起伏下操作により「下」エンド下げる 2) 起伏上操作にて「上」エンドまでの時間を測定する 7) 自然降下量を測定する (前右、前左、後右、後左)	
2. ブーム伸縮速度 1) ブームを全縮状態で起伏上操作により「上」エンドまで上げる 2) 伸縮操作により「伸」エンドまでの時間を測定する 3) 縮操作により「縮」エンドまでの時間を測定する	
3. ブーム旋回速度 1) ブームを全縮、起エンドの状態にする 2) ブーム旋回操作により 1 回転するまでの時間を測定する 3) ブーム右旋回、左旋回共に行なう	
4. 首振り速度 1) 首振り操作にて右エンド～左エンドまでの作動時間を測定する 2) 首振り右操作、左操作共に行なう	
5. プラットフォーム旋回速度 1) ブームを全縮、起エンドの状態にする 2) ブーム旋回操作により 1 回転するまでの時間を測定する 3) ブーム右旋回、左旋回共に行なう	

※3. 走行速度測定方法

〔測定要領〕

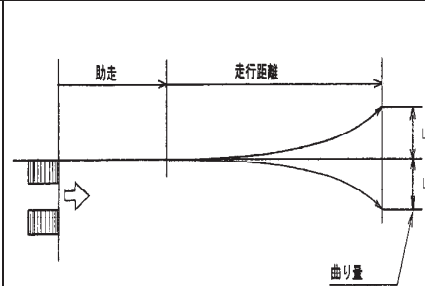
- 1) 車両を水平なアスファルト、コンクリートまたは堅土上にセットする
 - 2) 走行操作レバーをいっぱいまで操作する
 - 3) 車両が最大速度になるまで助走させる
 - 4) 速度が安定した走行区間の速度を測定する
- ※ブームの姿勢や切り替えスイッチを切り替え「高速」、「低速」を



※4. 走行直進性測定方法

〔測定要領〕

- 1) 車両を水平なアスファルト、コンクリートまたは堅土上にセットする
- 2) 走行操作レバーをいっぱいまで操作する
- 3) 車両が最大速度になるまで助走させる
- 4) 最高速度で約10m走行させ曲った距離を測定する

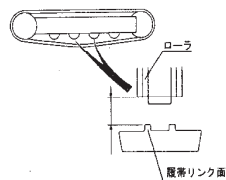


※5. 履帯たわみ測定方法

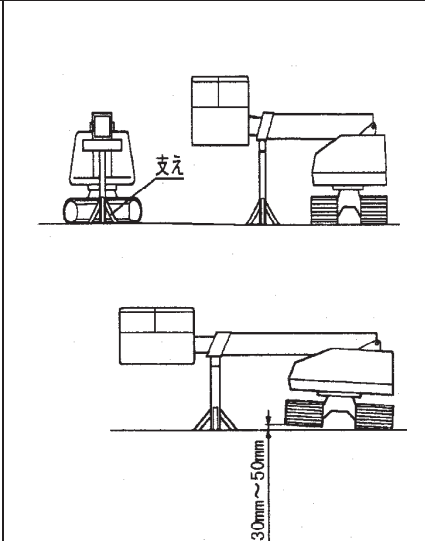
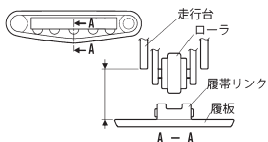
〔測定要領〕

- 1) 車両を水平なアスファルト、コンクリートまたは堅土上にセットする
- 2) 第1ブーム先端部に支柱セットする
- 3) ブーム「伏」操作を行い履帯を地面から30mm～50mm浮かせたわみ量の測定をする

1. SR10A、SR12B
SR18/21A スペック (AQ*、AQ***)



2. SR18/21A スペック (*S***)



※6. 作業半径測定方法

〔検査機器〕

1. 角度計
2. 巻尺
3. 重垂
4. 水系

※測定値や測定方法はモデルによって異なります
また同じ機種でも張り幅やウエイトの重量によっても異なります

〔測定例 L-MAX〕

※測定はL-MAX（ブーム全伸長）の他にL-MIN（起伏角水平）があります。
詳細はサービスマニュアルを参照してください

- 1) 車両を水平堅土上にセットする
- 2) ジャッキにより全タイヤを地切りさせる
- 3) 車体は前後左右水平にセットする
(張り幅によって測定値、測定方法が異なります)
- 4) バケットにウエイトを積載する
(機種、仕様により異なっているので各機種のデータを参照のこと)
- 5) ブームの操作は下操作で行なう
- 6) ブーム操作は低速にて行なう
- 7) ブームが自動停止した作業半径を測定する
- 8) 規定の作業半径（最大許容作業半径）に達しても、ブームの作動が停止しない場合は操作をやめ、作業半径が大きくなる側への操作は絶対に行なわないこと
- 9) 測定後ブームを操作する際は、ブームを全縮にした後、旋回操作を行なうこと

